|  |
| --- |
| **ＪＡ１２．**  **外為法　申請者届出登録** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＪＡＪ０１ | 外為法　申請者届出登録 |

１．業務概要

外為法に基づく輸出入許可・承認等の申請に係る業務を利用する場合に、該非確認責任者情報を登録または更新する事前に該非判定責任者情報の登録・更新または申請者届出情報を変更するための業務である。

なお、現在は申請者届出情報を登録並びに変更することはできない。

２．入力者

輸出入者

３．制限事項

「Ｖ１」から始まるＮＡＣＣＳ利用者ＩＤのみ該非確認責任者情報申請者届出情報及び該非判定責任者情報を登録できる。

４．入力条件

（１）入力者チェック

システムに登録されている輸出入者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

　　　　「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」を参照。

（３）ＤＢ関連チェック

　　（Ａ）ＮＡＣＣＳ利用者ＩＤ

①システムに登録されている輸出入者であること。

②登録区分が該非確認責任者登録変更の場合は、申請者個別情報ＤＢに登録されている利用者であること。

③入力者（先頭５桁）と、入力したＮＡＣＣＳ利用者ＩＤの先頭５桁が同じであること。

　　（Ｂ）法人番号

国内用輸出入者ＤＢまたは法人番号管理ＤＢに登録されていること。

ただし、法人番号を所有しない場合は、全てゼロを入力して登録する運用とするため、チェックの対象外とする。

　　（Ｃ）輸出入者コード

国内用輸出入者ＤＢに登録されていること。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）申請者情報登録処理

入力された該非確認責任者情報申請者届出情報及び該非判定責任者情報を申請者個別情報ＤＢ及び輸出管理責任者ＤＢに登録または更新する。なお、申請者届出情報欄の内容は更新しない。

（３）出力情報出力処理

後述の出力情報の出力を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 外為法　申請者届出情報 | なし | 入力者 |

７．特記事項

（１）法人番号欄および輸出入者コード欄の入力値検証について

法人番号欄には、法人番号または、税関発給コード１７桁が入力できる。いずれの入力もマスタテーブルの存在チェックを行う。

輸出入者コード欄には、ＪＡＳＴＰＲＯコードまたは、税関発給コード１２桁が入力できる。いずれの入力もマスタテーブルの存在チェックを行う。

（２）法人番号欄の必須化について

法人番号欄は原則として必須入力とする。ただし、法人番号および税関発給コード１７桁のいずれのコードもを所有しない場合は、全てゼロを入力して登録する運用とする。